

マグロ類における緊急赤潮情報 1

令和8年7月1日
大分県農林水産研究指導センター水産研究部

別府湾～臼杵湾にかけて、有害プランクトン（シャットネラ類）が注意密度を超え、分布域を拡大しています。マグロ類の管理にくれぐれもご注意下さい。

発生場所	別府湾～臼杵湾
発生期間	7月1日～
プランクトン	シャットネラ類
	神崎 4 cells/ml（表層）
	※詳細は別添参照

（シャットネラ類赤潮の注意点）

- ・ マグロの場合 警戒密度：10 cells/ml 注意密度：1 cells/ml
- ・ シャットネラ類は魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ・ 海面が着色する前の低密度（100 細胞/ml）で斃死されます。
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し、養殖、畜養中の魚介類に被害を及ぼすことがあります。
- ・ 陸上養殖では夜間に、中層で赤潮を引き込む危険があります。

赤潮発生場所での対応

- ・ 投餌は控える。
- ・ 赤潮海域へ魚介類を入れない。
- ・ 赤潮海域から魚介類を避難する。
- ・ 畜養は控える

